

現代洗脳のカラクリ 苦米地英人（とまべち ひでと）

面白い本。仕掛ける側のからくりが具体例で説明されている。

南北戦争とは、北部州が支配するアメリカ合衆国（ユニオン）から南部十一州がアメリカ連合国（コンフェデレート）を名乗って独立しようとした、独立戦争です。実際、コンフェデレートは赤地に青いバツテンマークを国旗として使っていました。対して北部のユニオンは現在のアメリカ合衆国とほぼ同じデザインの星条旗を使っていました。南北戦争でユニオンが勝ったからいま星条旗が国旗に使われているのです。

北部の諸州は工業が盛んでヨーロッパからアイルランド人、イギリス人、ドイツ人などが移住し、大きな労働力となっていました。一方、南部は広大なプランテーションを所有する裕福な白人が、多数の黒人奴隷を使役してヨーロッパに綿花を輸出して富を得ていました。自国の工業製品の価値を守りたい**北部は保護主義**を標榜し、経済圏をヨーロッパに拡張したい**南部は自由貿易主義**をとっていました。このように南部と北部は、奴隷制度に対する考え方、貿易に関する考え方から社会制度、人種構成まで大きく異なっていたのです。

アメリカの一般国民にとって**銀行家も移民と同列扱い**だということを理解しないと、トランプ氏の勝利の秘密は見てこないのです。銀行家までが移民であり、新参者というくくりであることがわかると、なぜ、トランプ氏が一般国民から支持されたかがやっと見えてきます。何しろ、近年のアメリカは、ウォールストリートを舞台にした金融市場が大きな力を持っており、富の99.9%は彼らが握っています。

アメリカン・ドリームはアメリカの成功の証ですが、その正体は徹底した拝金主義です。お金持ちになること。それだけがアメリカン・ドリームなのです。偉大な業績や発見、幸福度ではなく、基準となるのはお金を持っているか、否かだけなのです。

お金の煩悩を満たすことを諦めた人々が、差別でウサを晴らす。他人とのわずかな差を競い合う世界が到来するのです。

・・・

大差ないところで、大差を見つけて差別するのです。

洗脳は人々に恐怖を与えることで、被洗脳者を操ろうとします。

貧乏の恐怖。お金を持たない恐怖。

これが現代の日本で蔓延している洗脳であり、言葉を換えれば、お金が一番大切だというメッセージです。

MBAで教えているのは人の転がし方とお金の転がし方

・・・

短期的利益を上げるには、これが一番で、人の転がし方とはリストラであり、お金の転がし方で最も重要なことは回転率を上げた上で、タックスを払わないことになります。

ところで、タックスヘイブンに会社を作ると、企業にはどんな利益が出るのでしょうか。最も簡単な利益の出し方は、タックスヘイブンの会社に多額のコンサルタント料を払う方法です。例えば、日本のある企業が「うちはバージン諸島の会社にコンサルタント料として10億円払いました」といったら、海外なので日本の税務署は調べる方法がないのです。こんな簡単なやり方で10億円が経費となり、日本の法人の実効税率2億5千万円がまるまる浮くことになります。

・・・

タックスヘイブンの会社に10億円送金しただけで、税金2億5千万円が浮き、10億円が高利回りで運用されるとともに、10億円のキャッシュが戻ってくる。こんなおいしい話はないでしょう。これが合法なのですから、やめろと言ってもやめられないわけです。

ダブルアイリッシュ・ウイズ・ダッチサンドウィッチ

・・・

ですから、アイルランドの第1会社は、直接第2会社とライセンス契約を結ばないで、間にオランダの法人を入れて、第2会社にライセンスしていたのです。これがウイズ・ダッチサンドウィッチの意味です。

これによって**Appleは実効税率3・4%**にまで節税しています。アメリカの法人実効税率は35%で、日本の法人の実効税率は40%以上、個人でも25%は払っています。

もちろん、メディアが企業や権力者たちの意向にやすやすと従う理由は拝金主義に染まり切っているから以外にありません。本来、抑止力となるべきメディアが積極的に権力側に与しているのですから、社会の洗脳化に拍車がかかって当然でしょう。この拝金主義洗脳の何が恐ろしいかということ、洗脳者は国や大手メディアであり、対象は国民の全員だからです。

なぜなら、**パナマ文書をリークしたのは彼らウォール街の実力者たち**だからです。実質上のオフショア取引世界ナンバー1のウォール街がなぜ、自分で自分の首を絞めるパナマ文

書をリークしたのか、と疑問に思う読者も多いでしょう。しかし、パナマ文書をよく見れば、その理由が見えてきます。同文書では世界中の資産家、政治家、企業の実名がリークされましたが、アメリカの政治家の名前はほとんど公表されていません。

・・・

パナマ文書を公開した目的は、シティ潰しです。

・・・

「英領ケイマン諸島やバージン諸島に、お金を置いておいても安全じゃないよ。やっぱりお金は世界一のタックスヘイブン、ウォール街に置くのが一番だよ」という。

日本人が持つ「スポーツは素晴らしい」という価値観は、ヨーロッパの貴族たちが作った集金シンジケートによって刷り込まれた結果なのです。

王とは何か？

貴族とは何か？

それは、いかにして他人の土地や相手国の領土を奪うかに長けた人間たちのことです。そして現在、王侯貴族たちはIOCを筆頭とする国際的なスポーツ組織をいくつも作っていることはすでに書きました。領土取りのプロが組織を作ったのですから、その目的は最初から領土の獲得に決まっています。事実、日本は柔道というコンテンツをまるごと取られてしまいました。

スコトーマ 盲点

本書ではしつこいくらい変性意識状態について触れていますが、それは変性意識を自ら作りだして共有させることが洗脳および脱洗脳では極めて重要だからです。

要は、この人は信頼できそうだと、治療を任せてもいいと思った瞬間、もう変性意識状態になっているということです。これは変性意識の大きな特徴なのですが、自分が変性意識状態になると相手も変性意識状態になってしまうのです。なぜそうなるのかというと、第3章で紹介したホメオスタシス同調によるものです。

レジャーは取引台帳であり、そのまま決済データですから、仮想通貨には決済業務が不必要になります。

・・・

一方、銀行の利用者には大きなメリットが生じます。仮想通貨は送金手数料などが事実上無料ですからさまざまな取引に積極的に使われることになるでしょう。

なぜなら、ひとつの国の中で**通貨がひとつであると国は必ずインフレ政策を取る**からです。インフレになれば、国民から借りた金の実質的に減る上、所得税のブラケットがワ  
ンランク上に上がりますから、その分、多く税金を徴収できるようになります。要は、通  
貨がひとつであることは国だけが得をし、国民が苦しむことにつながるのです。

現在、政府はMUFJコインを納税できる法貨とは認めていませんが、円と一対一で換  
金できる上、資金量世界一の三菱東京UFJ銀行が保証しているので、**法貨と実質的  
には変わりません。**

<日銀がETFで買う株>

では、どこに日銀が払った金が行くのかといえば、株を日銀に売る相手です。この売  
り手は外資系ファンドです。もちろん、株を買ったのですから株価は上がります。しかし、  
儲かるのは外資系ファンドばかりで、株を発行した企業ではありません。日銀が刷った  
円は全部海外に流れていってしまっているのです。

情報操作にやすやすと引っかけられないためには自分が情報の使い手にならなければなり  
ません。

情報の使い手とは、広範囲な情報網と情報ルートを持ち、なおかつ冷静に情報に接しつ  
つ、核心に迫る能力を持つことです。

2012年からの習近平政権による反腐敗キャンペーン以後、マカオのカジノが急速に衰  
微したこと、そのあおりを受けて日本のカジノ容認への強いプレッシャーが外資からあ  
ったことの理由が理解できるでしょう。

苦米地英人. 現代洗脳のカラクリ (Kindle の位置 No.2897-2899). Kindle 版.